

**慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所（G-SEC）と博報堂、  
地域の資源を活かした体験・サービスをデザインする共同研究を実施  
—体験デザインのコツをまとめた『地域体験デザインカード』を開発—**

慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所（東京都港区）のサービスデザイン研究プロジェクトと、株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：戸田裕一）の企業や社会のイノベーションを支援する専門チームの博報堂イノベーションデザインは、地域の資源やリソースを活かした体験・サービスデザインの方法論に関する共同研究を行いましたのでお知らせいたします。

これまでの地域振興の多くは、物産品や自然景観、文化財や観光施設等の物的資源を中心に進められてきましたが、地域振興に直接的に活かせる物的資源には限界があり、また人々の関心も、物的資源そのものから、それらに伴う物語や体験的な価値へと大きく移ってきています。

今回は、慶應義塾大学 G-SEC サービスデザイン研究プロジェクトの研究代表である経済学部 武山政直教授及びそのゼミ生と博報堂イノベーションデザインが共同で、有形・無形の資源の組み合わせを通じて新たな価値共創機会を生み出すサービスデザインの手法を用い、体験価値を基軸とした地域振興の方法論を構築するための研究を行いました。

本共同研究の一環として、地域の資源を活かした体験やサービスをデザインするためのインスピレーション集となる『地域体験デザインカード』を開発いたしました。

『地域体験デザインカード』は、地域の体験資源を活用したサービスの成功事例を分析し、サービス化モデルの整理とメソッド化を行った上で、【準備】【直前】【体験中】【直後】【帰宅後】という体験の流れに沿って、体験デザインのコツを 35 に分類し、整理したものです。

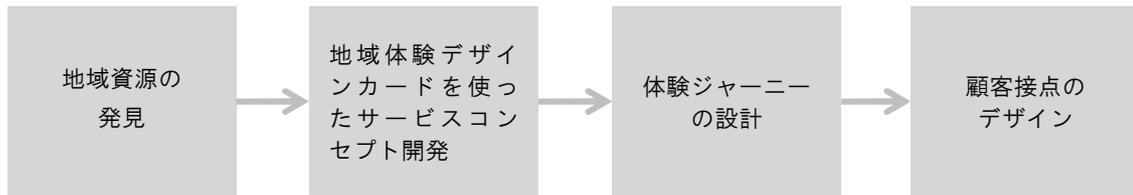
- 【準備】 実際の体験を行う前の準備段階
- 【直前】 本体験の直前となる入り口体験
- 【体験中】 体験の中で起こること、感じること
- 【直後】 本体験が終わった直後の出口体験
- 【帰宅後】 体験を終えて家に帰った後の体験

【地域体験デザインカード】



また、体験カードを使ったワークショッププログラムも併せて開発しました。ワークショップを通じて、その地域ならではの資源を活用した体験デザインを行うことができます。

【ワークショップの流れ】



■慶應義塾大学経済学部 武山政直研究室

(研究統括：武山政直 経済学部教授・グローバルセキュリティ研究所 上席研究員)

サービスデザインをテーマとして、生活者や企業が参加して新たなサービスを“共創”する手法や、日々の暮らしを豊かにする新たなイノベーションの実践的研究に参学共同で取り組んでいます。

<http://keg-lab.jp/>



■博報堂イノベーションデザイン／イノベーションラボ

企業や社会のイノベーションを支援するための専門チームです。未来洞察や、機会発見のためのフィールドリサーチ、コンセプト立案、プロトタイピングなど、生活者発想イノベーションの方法論を使って、企業の製品・事業開発や社会の課題解決に貢献しています。

<http://innovation-design.jp/>



【本件に関するお問い合わせ】

慶應義塾大学広報室 兒玉 TEL：03-5427-1541  
博報堂広報室 西尾・竹本 TEL：03-6441-6161